



《赤舌》(部分) © 水木プロダクション

水木しげる・妖怪図鑑

関連記事掲載・番組でのご紹介のお願い

拝啓

向夏の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は兵庫県立美術館の活動にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて当館では平成 22 年 7 月 31 日(土)から 10 月 3 日(日)まで「水木しげる・妖怪図鑑」を開催いたします。

画業 60 周年と米寿を記念して開催される本展は、水木プロダクションの全面的な協力のもと、巨匠が長年に渡って描き続けた妖怪画にスポットを当てる展覧会です。

1000 点以上に及ぶ原画の中から代表的な妖怪 88 種と鬼太郎を描いたものを精選し、驚異と幻想に満ちた水木ワールドの真髓をご覧ください。

つきましては、ぜひ本展を広くご紹介いただきますようお願い申し上げます。広報用写真や読者・視聴者プレゼント用招待券もご用意しております。ご希望の場合は、別紙の FAX 用紙をご送付ください。その他、ご不明な点や資料のご要望等がございましたら、お手数ですが当館までご連絡いただきますようお願いいたします(連絡先は 5 ページに記載しております)。

敬具

兵庫県立美術館 営業・広報グループ

会 期： 2010年7月31日(土) 10月3日(日)
開館時間： 午前10時-午後6時(金・土曜日は夜間開館、午後8時まで)
入場は閉館の30分前まで
休 館 日： 月曜日 ただし、9月20日は開館し、翌21日は休館
主 催： 兵庫県立美術館、産経新聞社、神戸新聞社
後 援： 兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市、神戸市教育委員会、
鳥取県、関西広域機構、NHK神戸放送局、NHK鳥取放送局、
関西テレビ放送、サンケイスポーツ、夕刊フジ、サンケイリビング新聞社、
サンテレビジョン、ラジオ大阪、ラジオ関西、FM802
協 力： 水木プロダクション
協 賛： 大日本印刷株式会社、財団法人みなと銀行文化振興財団
特別協力： 財団法人兵庫県学校厚生会、株式会社シマブンコーポレーション

観 覧 料： 一般1,300(1,100)円、大学生900(700)円、高校生・65歳以上650(550)円、
中学生以下無料
()内は前売および20名以上の団体割引料金(高校生・65歳以上は前売なし)

障害のある方とその介護の方1名は各当日料金の半額(65歳以上は除く。)
割引を受けられる方は、証明できるものを持参のうえ、会期中美術館窓口で入場券をお買い求めください
コレクション展の観覧には別途観覧料金が必要(本展とあわせて観覧される場合は割引あり)
前売り券：チケットぴあ(Pコード：764-228)、ローソンチケット(Lコード：53448)ほか京阪神の
主要駅、主要プレイガイド

交通案内

- ・阪神岩屋駅から南に徒歩約8分
 - ・JR神戸線灘駅南口から南に徒歩10分
 - ・阪急王子公園駅西口から南西に徒歩約20分
 - ・JR三ノ宮駅南から神戸市バス、阪神バスにて約15分「県立美術館前」下車すぐ
 - ・地下駐車場(乗用車80台収容・有料)
- *ご来館はなるべく電車・バスをご利用ください
*団体バスでお越しの場合は、バス待機所のご予約をお願いします

巨匠・水木しげるが描く妖怪画の真髄。そして日本近代妖怪画の系譜。

「ゲゲゲの鬼太郎」など妖怪漫画のヒット作で知られる水木しげる。今日私たちが思い浮かべる妖怪のイメージは、大部分を彼の作品に負っているといっただいでしょう。また、水木は昭和20年代に神戸市兵庫区の水木通で紙芝居作家として活動するなど兵庫県ともゆかりの深いことでも知られています。画業60周年と米寿を記念して開催される本展は、水木プロダクションの全面的な協力のもと、巨匠が長年に渡って描き続けた妖怪画にスポットを当てる展覧会です。

1000点以上に及ぶ原画の中から代表的な妖怪88種と鬼太郎を描いたものを精選し、驚異と幻想に満ちた水木ワールドの真髄をご覧ください。また、本展では、各種の百鬼夜行絵巻や妖怪の登場する浮世絵など、水木に影響を与えた過去の美術作品を展示することで、私たちのイメージを無限に刺激し続ける妖怪という存在とわが国において連綿と受け継がれてきた妖怪画という文化について考察します。

さらに、併設の体験型模型展示「ゲゲゲの森の大冒険」では、水木原画を立体化した妖怪たちが登場。

「さあ、老いも若きも妖怪の世界へとLet's 冒険じゃ!!」

展示構成：

第1章 水木しげるの妖怪図鑑



日本一の妖怪博士・水木しげる大先生がこれまでに描いてきた1000点以上の妖怪の中から88種類を選び出し、『里の妖怪』、『山の妖怪』、『水の妖怪』の三種類に分けて紹介するコーナーじゃ。君は何種類知っているかな？



《釣瓶落とし》© 水木プロダクション



《うわん》© 水木プロダクション



《川太郎》© 水木プロダクション

第2章 鬼太郎の秘密

水木作品最大のヒーロー・ゲゲゲの鬼太郎と仲間たちを描いた原画を16枚並べるコーナーじゃ。さらに漫画『鏡爺』の原画16ページも特別展示、わしらの活躍をとくと見ておくれよ。



《バックベア - ドと吸血鬼エリート》
© 水木プロダクション



《きたろう10のちから》© 水木プロダクション



《妖怪大決戦》© 水木プロダクション

第3章 江戸時代の妖怪たち



百鬼夜行の絵巻をはじめ、水木先生より昔の人たちが描いた妖怪の絵を紹介するコーナーじゃ。日本には昔から様々な妖怪が住みついていたんじゃぞ。半期ごとに展示替をおこないます。



伊藤若冲 《付喪神図》 福岡市博物館蔵
(8月31日からの展示)



鳥山石燕 『百器徒然袋』 西尾市岩瀬文庫蔵
会期中、展示箇所を変更します。



《百鬼夜行之図》(部分) 西尾市岩瀬文庫蔵
(8月29日までの展示)

併設 ゲゲゲの森の大冒険

これまで絵で見てもらった妖怪たちが、今度は立体になってみんなにあいさつするぞ。とり憑かれな
いよう注意するんじゃな。
ヒッヒッヒ...



《大かむろ》 © 水木プロダクション



《見上げ入道》 © 水木プロダクション



《百目》© 水木プロダクション

関連行事

「ゲゲゲの女房」スペシャルトーク&コンサート（共催：NHK神戸放送局、兵庫県立美術館アートフュージョン実行委員会）

出演：「ゲゲゲの女房」制作担当者、高橋希（ピアノ）、大宮臨太郎（ヴァイオリン）、山内俊輔（チェロ）
8月7日（土） 午後5時30分より約90分 ホワイエにて
聴講無料 定員200名（当日午後3時より整理券配布）

記念対談+朗読会「水木妖怪のふるさと」

出演：佐野史郎（俳優）、小泉凡（島根県立大学短期大学部教授）
9月5日（日） 午後2時より約90分 ミュージアムホールにて
聴講無料（要観覧券チケット） 定員250名（当日午前11時より整理券配布）

おやこ解説会「妖怪三昧」

8月25日（水） 午後1時30分より約45分
レクチャールームにて 聴講無料

学芸員による解説会

8月28日（土）、9月11日（土）、9月25日（土） 午後4時より約45分
レクチャールームにて 聴講無料

ボランティアによる解説

会期中毎週日曜日午前11時より約15分
レクチャールームにて 聴講無料

鳥取・兵庫連携行事「ゲゲゲのふるさと とっとりワールド」

8月4日（水）～8日（日） 水木しげるを育んだ鳥取の芸能や物産、砂でつくった妖怪像などを紹介するイベントを開催

【このプレスリリースについてのお問い合わせ】

兵庫県立美術館

〒651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通1-1-1（HAT神戸内）

ホームページ <http://www.artm.pref.hyogo.jp>

（展覧会の内容に関すること）

電話 078-262-0909 ファックス 078-262-0913

担当学芸員 岡本 弘毅

（情報提供・広報に関すること）

電話 078-262-0901（代）/078-262-0905（直） ファックス 078-262-0903

営業・広報グループ

広報用画像について

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。別紙の申込書をご使用ください。

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。

本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体（VTR/DVD）などを、上記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、営業・広報グループまでご連絡ください。事前にご連絡のない取材、撮影はお断りいたします。

水木しげる・妖怪図鑑

営業・広報グループ 宛

FAX (078) 262-0903

ご希望の写真の番号に をつけてください。後日お送りいたします。また、読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで)もご用意しております。ご希望の場合は、ご請求ください。

番号	作家名・作品名・制作年・素材・その他(クレジット等)
1	《赤舌》 © 水木プロダクション
2	《釣瓶落とし》 © 水木プロダクション
3	《うわん》 © 水木プロダクション
4	《川太郎》 © 水木プロダクション
5	《バックベア - ドと吸血鬼エリート》 © 水木プロダクション
6	《きたろう10のちから》 © 水木プロダクション
7	《妖怪大決戦》 © 水木プロダクション
8	伊藤若冲 《付喪神図》 福岡市博物館蔵(8月31日からの展示)
9	鳥山石燕 『百器徒然袋』 西尾市岩瀬文庫蔵 会期中、展示箇所を変更します。
10	《百鬼夜行之図》(部分) 西尾市岩瀬文庫蔵(8月29日までの展示)
11	《大かむろ》 © 水木プロダクション
12	《見上げ入道》 © 水木プロダクション
13	《百目》 © 水木プロダクション

貴社名			
媒体名	新聞・雑誌・ミニコミ TV・ラジオ・インターネット		
ご担当者名			
ご住所	〒		
電話番号		FAX	
メールアドレス	@		
URL			
掲載・放送予定日			
写真到着日希望			
読者・視聴者プレゼント用招待券(最大10組20名まで本展を媒体でご紹介いただける場合に限ります)	組	名	分希望

写真データ使用は、本展覧会の紹介用のみとさせていただきます。それ以外での使用はできませんので、ご了承ください。本展に関する記事をご掲載いただきました際には、お手数ですが、掲載誌・紙または記録媒体(VTR/DVD)などを、下記宛にお送りくださいますようお願い申し上げます。

本展覧会会場の取材、撮影をご希望の場合は、上記までご連絡ください。事前にご連絡のない取材・撮影はお断りいたします。